

7月 校長室だより

平成30年7月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

第60回体育大会



6月8日(金)体育大会を行いました。早朝より曇り空で、開会式から小雨が降り出し、実施が危ぶまれました。途中激しくなり、中断を余儀なくされました。コース上に砂を撒いたり、生徒が少しでも安全に走れるように配慮しながら、PTA競技と部活動対抗リレー以外の全ての種目を何とか無事に終えることができました。

途中昼休みを入れずに実施、保護者の方々にもご迷惑をおかけしました。また、生徒たちはお腹が減ったにもかかわらず、早朝の準備から最後までよく頑張ってくれていました。

開会式でもお話しさせていただきましたが、校舎の建て替えが正式に決定しました。今年度の3学期からの仮校舎の建設に始まり、約5年間

(途中1年間の中断あり)の計画で行われます。その間運動場の使用が大幅に制限されます。体育大会も、今後数年間本校で実施できなくなります。

皆様のなじみのある本校で行う最後の体育大会と思うと、あまり天候には恵まれませんでした。生徒たちが最後まで笑顔で、元気よく体育大会を盛り上げてくれ、忘れられない体育大会になりました。

「振り子の塔」「安全の日」について考える集会

6月11日(月)1時限目は道徳の時間でしたが、体育館で全校集会を行いました。

今から20数年前、本校のグラウンドに振り子の塔が建てられました。その中には地球の自転を証明するフーコーの振り子を縮小したものが設置されています。生徒たちにとっては当たり前の風景として感じているのか、なぜ振り子の塔があるのかということに疑問を抱く生徒も少ないように感じます。

今日の集会では、1985年8月12日に起こった日航機墜落事故によって、2名の本校生徒がお亡くなりになったこと、その約10年後に宇宙や地球の自転に興味を持っていた我が子を思い、ご遺族が本校に寄贈されたことを伝えました。

また、1976年6月7日、仲の良かった2人の男子生徒が、ふざけ合って遊んでいたところ、体勢を崩した一人の生徒がコンクリートの廊下に後頭部を打ち付けてしまい、尊い命が失われてしまいました。当時の教職員が2度とこのような事故を繰り返すまいという思いを込め、毎月7日を【安全の日】と決めました。以来、月中行事予定表には必ず、毎月7日のらんに【安全の日】と記されてきました。

本校の60年の歴史に刻まれた2つのできごとですが、3人の元本校生徒が後輩たちに、命の大切さについて気づかせ、語りかけてくれている。先輩たちが送り続ける大事な、大事なメッセージをいつまでもいつまでも伝えていきたいと思います。

6月18日

休み明けの月曜日の始業前、突然激しい揺れに襲われました。一挙に緊張が走りしました。初めて経験する激しい地震に驚きと恐怖を感じた生徒もいたことと思います。登校途中の時間帯と言うことで、運動場に集合し、生徒の安全確保に努めました。

テレビやネットで大阪市内の小中学校で臨時休校にするなど、報道されましたが、激しい余震があるかも知れないということもあり、生徒の安全を考え、学校独自で判断することとしました。本校では4限終了後、地域別に分かれ、教員引率のもと下校することにしました。

電話、ホームページ等が十分つながらず、保護者の皆様にご迷惑を心配をおかけしたことを踏まえ、改善を図っていきたいと考えています。

今後とも保護者、地域の皆様と連携しながら、より防災の意識を高め、取り組みを進めていくことが大切であると痛感しました。



7月の主な行事

3日(火)3年高校体験授業 1年性教育 7日(土)都島区進学フェア(都島区民ホール)
12日(木)～18日(水)〈土日、祝日除く〉期末懇談会 20日(金)1学期終業式
8月27日(月)2学期始業式